

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	防災対策事業	担当者	総務課	消防防災係
-------	--------	-----	-----	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全・安心な村／生活環境の整備／公共交通
関連する主な計画等	地域防災計画
根拠法	災害対策基本法
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	村民
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明 <input type="checkbox"/> 事業の終期 <input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	地震、風水害、火災や原発事故等の被害を最小限におさえ、村民の生命、財産を守るため、地域防災力の向上を図ります。					
具体的取組	地域安全委員会の開催 自主防災会独自訓練や自治会防災訓練の実施 防災備蓄倉庫や防災備蓄品(非常食など)の設置及び配置 耐震リフォーム補助事業の実施					
実績・効果	地域安全委員会の開催 (2回) 自主防災会独自訓練(53部落 約1,100人参加) 自治会防災訓練の実施(清内路自治会・村合同 4会場 約200人参加) 防災備蓄倉庫の拡充(5棟) 防災備蓄品(非常食)の備蓄(主食 2,000食、クラッカー 1,330個) 耐震リフォーム補助事業の実施(11件 補助額 3,865千円)					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	報酬	786	工事請負費	34,021		
	需用費	2,060	備品購入費	2,916		
	委託料	2,058	負担金及び補助金	12,373		
	使用料及び賃借料	218				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	157,471	357,574	54,432	83,813	18,800
	うち一般財源	150,751	7,674	54,315	83,696	18,683
	うち補助金	6,720	349,900	117	117	117
	うち個人負担					
	従事職員(人)	正規職員 0.3 臨時職員	0.3	0.3	0.3	0.3

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	a 南海トラフ地震防災対策推進地域及び東海地震対策強化地域であり、また国内で発生している大きな地震災害、風水害もあり住民のニーズは非常に高くなっている。	C
	手段、成果は妥当か	c 災害に備えるための計画やマニュアルの整備が必要だが半分以上が作成できていない。	
	対象者の設定は妥当か	a 妥当と考える	
	村の関与は妥当か	a 災害に備えることや災害発生時の対応は村が関与することが妥当	
有効性	期待された効果が得られたか	防災備蓄倉庫や備蓄品の購入をおこない災害に備えた	B
効率性	コストの削減に努めたか	b 調達については、指名競争入札等を実施し調達コストの削減に努めた	B
	効率性を高める工夫はされたか	b 事務処理の効率化	
公平性	受益者負担は適切か	耐震リフォーム補助制度については妥当と考える	A
総合評価	C		

④改善(ACTION)

事業の方向性	拡充
課題	近年、国内では大規模な地震災害や風水害が多く発生していることもあり、災害に備えるための計画等が細分化されているが村では対応できていない。また、観測精度の向上から災害予測の制度があがり、住民の生命を守るため、より迅速に住民への情報提供や避難に関する勧告等の判断も行わなければならない。
今後の取り組み	災害に備えるための様々な計画やマニュアルの見直しや作成が必須。